

令和5年度 北海道エキノコックス症対策協議会媒介動物専門部会

日時：令和6年2月29日（木）13:30～15:30

場所：道庁別館地下一階 大会議室 A

参加者

（委員）

部会長 帯広畜産大学畜産学部 教授 押田 龍夫  
委員 酪農学園大学獣医学群獣医学類 教授 蒔田 浩平  
委員 北海道大学大学院獣医学研究院 教授 野中 成晃  
委員 北海道立衛生研究所感染症部 主幹 孝口 裕一

（道関係者）

保健福祉部健康安全局食品衛生課 食品衛生課長 佐藤 吾郎  
保健福祉部健康安全局食品衛生課 食品衛生課長補佐 菊池 志帆  
保健福祉部健康安全局食品衛生課 食肉検査係長 萩谷 友洋  
保健福祉部健康安全局食品衛生課 専門員 小山内 佑太  
保健福祉部健康安全局食品衛生課 専門員 藤崎 素之  
北海道立衛生研究所感染症部 特任研究職員 浦口 宏二  
農政部生産振興局畜産振興課 （欠席）  
環境生活部環境局循環型社会推進課 係長 浅井 康孝  
環境生活部環境局自然環境課 （欠席）  
保健福祉部感染症対策局感染症対策課 係長 新川 智之

< 議 事 録 >

菊池課長補佐	ただ今から、令和5年度北海道エキノコックス症媒介動物対策専門部会を開会します。 本日、司会進行及び事務局を担当いたします北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の菊池です。 開会にあたりまして、当課の佐藤課長よりご挨拶申し上げます。
佐藤課長	（あいさつ）
菊池課長補佐	では、本日の議事に入る前に、委員の皆様をご紹介します。 （委員の紹介） それでは、この後の議事の進行は押田部会長にお任せいたします。押田部会長、どうぞよろしくお願いいたします。
押田部会長	北海道エキノコックス症媒介動物対策専門部会の部会長を務めます帯広畜産大学の押田です。 冒頭、佐藤課長からお話がありましたとおり、この媒介動物対策専門部会では、皆様

	<p>から専門的な御意見をいただき、北海道のエキノコックス症媒介動物対策について審議することを目的として、設置されております。</p> <p>皆様におかれましては、議事の円滑な進行につきまして、ご協力をお願いします。</p> <p>それでは、議事の開始に先立ちまして、事務局から、配付資料と本日の流れについて、説明をお願いします。</p>
萩谷係長	<p>&lt;資料説明&gt;</p> <p>配付資料の確認と予定の議事について説明いたします。</p> <p>皆様のお手元に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第を1部</li> <li>・議事1と書かれた資料を1部</li> <li>・議事2と書かれた資料を1部</li> <li>・議事3と書かれた資料を1部</li> <li>・議事4と書かれた資料を1部</li> <li>・昨年の専門部会の議事録</li> <li>・参考資料（対策実施要領等）</li> </ul> <p>配付していますので、ご確認ください。</p> <p>それでは本日の流れについてですが、</p> <p>まず、議事1「家畜におけるエキノコックスの検出状況について」事務局から報告いたします。</p> <p>続いて、議事2として、蒔田委員から、媒介動物対策に関連する調査研究について、ご報告いただきます。</p> <p>続いて、議事3として、衛生研究所の浦口特任研究職員からの特別講演、</p> <p>最後に、議事4として、孝口委員からご報告をいただきます。</p> <p>配付資料と本日の流れの説明は以上となります。</p>
押田部会長	<p>ありがとうございます。それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p>まず、家畜におけるエキノコックスの検出状況について、事務局から説明をお願いします。</p>

萩谷係長	説明いたします。 (資料に基づき説明) エキノコックス症患者の届出状況については、感染症対策課からご説明をお願いします。
新川係長 (感染症対策課)	(資料の 16P 道内におけるエキノコックス症届出状況 (速報値) について説明) 毎年 20 名ほどのところ、令和 5 年は 13 名と減少。今後の動向を注視する。
押田部会長	ありがとうございます。 ただいまのご説明について、皆様からご意見やご質問はございますでしょうか。
野中委員	キツネや豚等の検査頭数は、年度集計か年次集計か。
萩谷係長	家畜 (豚・馬) については年次集計。他は年度集計。
野中委員	承知した。
押田部会長	今回、R 4 のキツネ等解剖調査結果について報告があったが、今年度の解剖の結果を専門部会で報告できるよう、解剖調査の後に専門部会を開催することは難しいか。
萩谷係長	難しいと考えている。 理由としては、解剖調査はキツネ等の捕獲時期を勘案して 3 月上旬に行っており、結果の集計に時間がかかることや、親会の開催時期も後ろ倒しになるため。
浦口特任研究員	加えて、札幌市からの検体の解剖は 3 月いっぱいまで行い、4 月にデータをまとめるため、開催時期をずらしたとしても年度内に札幌分の報告はできない。
押田部会長	他に何かご意見ご質問ありますでしょうか。 それではこれで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。 続きまして、議事の 2 に移ります。委員の方からの報告をいただきたいと思います。 蒔田委員からお願いいたします。
蒔田委員	【報告】 時空間モデルによる生態学的データに基づく道路上キツネ糞数の推定 ・ 雑木林と畜舎付近はキツネの出現率が高いことが示唆された。 ・ 駆虫薬入りベイトをより効率的・効果的に散布する方法の検討につながるデータ。
押田部会長	ありがとうございました。 ただいまのご報告にご意見、ご質問ありましたらよろしくご願ひいたします。
孝口委員	畜舎の周りに糞が多いという話だが、畜舎のマッピングはどのようにして行っているのか。ざっくりと農場といっても敷地が広いと思うが。

蒔田委員	グーグルアースで上空からの写真を確認し、建物の形等から畜舎と思われる施設をピンポイントでマッピングしている。
野中委員	単変数時空間解析の WAIC の数値について、良いモデルとそうでないモデルの数値がそこまで大差ないように感じるが、この差は統計的には大きな差なのか。
蒔田委員	昨年の部会長のご助言により追加した 500m バッファの変数を導入しなければ、ここまで低い数値はなかなか得られなかったため、大きな差という認識。
押田部会長	500m の変数を用いていただき感謝。PC 3 でここまで大きな差が生じるのは意外に感じるが、蒔田委員はどう感じていますか。
蒔田委員	同感です。
押田部会長	もう一点質問。季節による糞数の変動はあるのか。
蒔田委員	今回の調査はキツネの活動が活発になる育児期（4月～8月？）に行ったものであるため、他の時期には当てはめられない。
押田部会長	他に何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、続きまして、浦口特任研究職員による特別講演です。 浦口特任研究職員におかれましては、皆様もご存じかと思いますが、道立衛生研究所において、長きにわたり、エキノコックス症の研究に取り組まれてきました。 本日は、これまでの取組みをご紹介いただけることになっております。  それでは、浦口特任研究職員、どうぞよろしくお願いいたします。
浦口特任研究職員	【講演】 北海道のエキノコックス症媒介動物対策の経緯と課題について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1965 年に北海道本島で最初の患者が確認されて以来、キツネにおけるエキノコックス感染流行地域の確認やキツネの駆除などの対策がとられた。</li> <li>・ 衛研や民間団体等の協力のもと、駆虫薬ベイトを散布する市町村・施設も増えている。</li> <li>・ 札幌では都市ギツネが増加。周辺からの侵入のみならず、市街地内部で繁殖している可能性が示唆される。</li> </ul>
野中委員	帯広・旭川・北見などでも札幌と同じようにアーバンフォックスが増えているのか。 なんらかの情報を使って把握できないか。
浦口特任研究員	周辺からの流入は同様と思われる。 市街地内部での繁殖については、札幌と比較すると市街化区域の面積は小さいので、あまりないのでは。 札幌同様、交通事故死体の回収地点のデータや苦情の報告など、生データはあると思う

	ので活用できる可能性はあると思われる。
押田部会長	過去4年の駆除の数・場所について、畜大でまとめている。 年数が集まればものになるかも。
野中委員	もう一点。そもそもアーバンフォックスが増えている背景は。
浦口特任研究職員	1つは、キツネの個体数が増加傾向にあると思われること。有害駆除数からある程度個体数を類推できる。 もう1つは、市街地での生活により人慣れした個体が増え、市街地内での繁殖によって個体数が増加しているためと思われる。
野中委員	承知した。 札幌市内で回収されたキツネの幼獣がエキノコックス陽性であれば、市街地で感染したものと解釈できると思う。幼獣のエキノコックス陽性率を集計すれば、市街地におけるエキノコックスのまん延について一つの指標になるのではないか。
浦口特任研究職員	幼獣の検体数が少ないので、信頼性のある数字にはならない。 成獣のキツネの陽性率については、市街化区域の辺縁部では約30%、端から1km内側の市街化区域内部では約25%。統計的に有意差はあるものの、大差ないという印象。市街化区域内部でも意外とヤチネズミがいるのかもしれない。
蒔田委員	人に関わる話なので、医師にもこの話を伝えた方がよいと感じるがいかがか。
萩谷係長	専門部会での議論の内容について、親会に概要を報告する。 現時点では、医師に直接話す機会は予定してない。
浦口特任研究職員	医師は予防というよりは治療する立場なので、話す必要性があるかは疑問。
押田部会長	皆様から何かご意見、ご質問ありましたらよろしくお願ひします。 では議事の4に移ります。 孝口委員からご報告をお願いします。
孝口委員	【報告】札幌市のエキノコックス症媒介動物に関する市民相談の傾向について ・ キツネに関する市民相談件数が近年増加している。 ・ キツネを人家周辺に寄せ付けないための対策やキツネの捕獲・駆除の要望に係る相談が8割超
部会長	ありがとうございました。 この件に関してご質問等ありますでしょうか。

野中委員	市民や来道者への情報発信が重要と感じる。何か施策をするにも世論の後押しがないと。
押田部会長	各市がベイトを散布に前向きに取り組めるような方法を探る必要があると感じる。例えば、札幌市については各区ごとに対応ができたりしないものだろうか。
萩谷係長	札幌市のことなので事務分掌についてはわからない。
野中委員	子供達に落ちているキツネの糞を拾ってチューブに入れてもらって、その中に卵が入っていてこれを食べると感染してしまうと教える月寒公園でのイベントのように、エキノコックス対策について市民の意識の醸成が必要。
部会長	他にどなたか発言は。  それでは議事の5に進みます。 その他、とありますが、何かご発言のある方はいらっしゃいますか。  では、私から一点。 情報提供として、畜大の研究で、標津で50m幅でベイトを散布している。 進捗あればお知らせする。  他にありませんか。 では事務局から連絡事項について説明をお願いします。
菊池補佐	事務局からご連絡いたします。 本日の議事の内容につきましては、後日、北海道エキノコックス症対策協議会に報告することとなります。 本来であれば、事前に委員の皆様にご内容を御確認いただくところですが、協議会の開催日まであまり時間がありませんので、事務局一任とさせていただけないでしょうか。 (部会長・委員 了承)
菊池補佐	ありがとうございます。事務局一任とさせていただきます。 事務局からは以上です。
部会長	他にご発言のある方はいらっしゃいますか。 ないようであれば、これで、本日の専門部会を閉会とします。 皆様、お疲れ様でした。 － 閉会 －